



CQM(超短期経済予測モデル)

稲田義久 (APIR 研究統括)

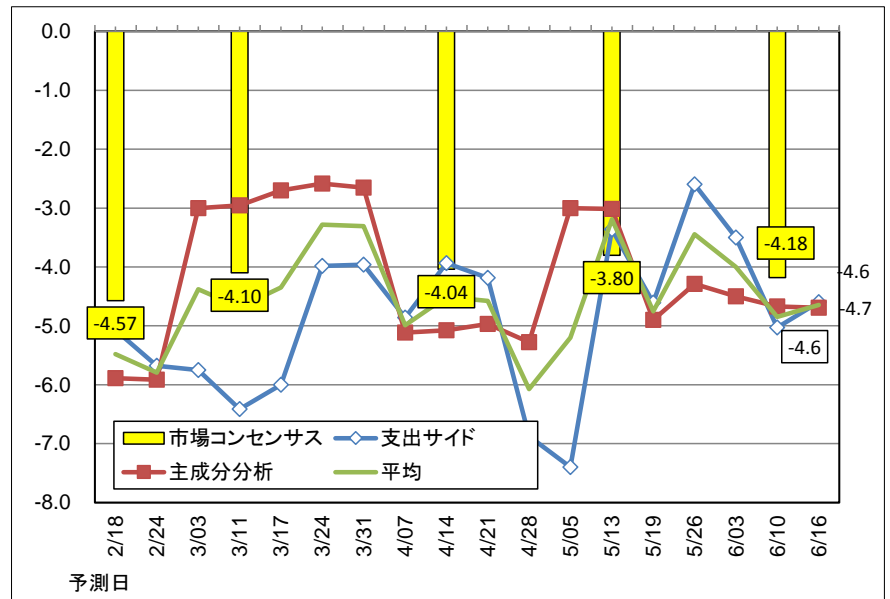
内容に関するお問い合わせは下記まで
e-mail: inada-y@apir.or.jp

日本経済(週次)予測(2014年6月16日)

ポイント

- ▶今回予測で更新されたデータは、5月の国内企業物価指数、4月の第3次産業活動指数、鉱工業指数(確報値)及び機械受注統計である。これらは、民間企業設備、政府最終消費支出、純輸出及びデフレータの予測値に影響を与える。
- ▶4月の資本財出荷指数(確報値)は速報値を幾分下回り、民間機械受注は事前予測を下回った。結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から小幅下方修正。
- ▶4月の公務等活動指数は2カ月連続の前月比マイナス。結果、4-6月期の実質政府最終消費支出の予測値は先週から小幅下方修正された。
- ▶5月の輸出入物価指数が更新され、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から上方修正された。
- ▶今週(6/16)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比年率-4.6%と予測。先週の予測(-5.0%)から小幅上方修正。
- ▶今後は公共工事の拡大が期待され、貿易収支が改善するとすれば、4-6月期の実質GDP成長率の大幅マイナスは引き続き縮小が期待される。

CQM予測の動態：実質GDP成長率
2014年4-6月期(%, 前期比年率換算)



<公共投資の拡大や貿易収支改善で、今後4-6月期のマイナス成長率幅の縮小が期待できる>

今回更新されたデータは、5月の公共工事請負金額、国内企業物価指数、輸出入物価指数、4月の第3次産業活動指数、鉱工業指数(確報値)及び機械受注統計である。これらは、民間企業設備、政府最終消費支出、純輸出及びデフレータの予測値に影響を与える。

4月の資本財出荷指数(確報値)は前月比-6.9%となり、2カ月連続のマイナス。速報値を幾分下回った。また、同月の民間機械受注は同-9.1%減少し、事前予測を下回った。結果、4-6月期の実質民間企業設備の予測値は先週から小幅下方修正された。

4月の公務等活動指数は前月比-0.2%低下し2カ月連続のマイナス。実績値は事前予測を下回った。結果、4-6月期の実質政府最終消費支出の予測値は先週から小幅下方修正された。

5月の輸出入物価指数が更新された。結果、実質財貨・サービス輸出の予測値は先週から横ばいとなったが、同輸入の予測値は下方修正されたため、4-6月期の実質純輸出の予測値は先週から大幅上方修正された。

今週(6/16)の超短期モデル(支出サイド)は、4-6月期の実質GDP成長率を前期比-1.2%、同年率-4.6%と予測。先週の予測(-5.0%)から小幅上方修正となった。同期は純輸出(前期比+0.8%)が拡大に転じるが、内需が駆け込み需要の反動で大きく縮小(前期比-1.9%)する。今後は公共工事の拡大が期待され、貿易収支が改善するとすれば、4-6月期の実質GDP成長率の大幅マイナスは引き続き縮小が期待される。

・本レポートは執筆者が情報提供を目的として作成したものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
 ・当研究所は、本レポートの正確性、完全性を保証するものではありません。また、本レポートの無断転載を禁じます。
 ・お問い合わせ先：一般財団法人アジア太平洋研究所 contact@apir.or.jp 06-6485-7690